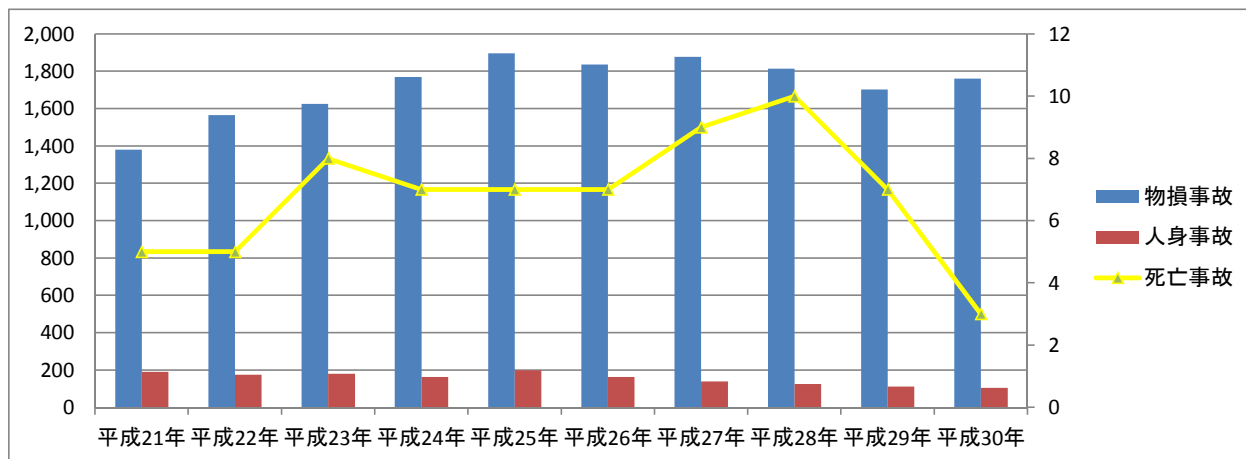


四国の高速道路交通事故発生状況 (平成30年中)

平成30年中に四国の高速道路で発生した交通事故 総件数**1,867**件

○交通事故発生件数推移（過去10年間）



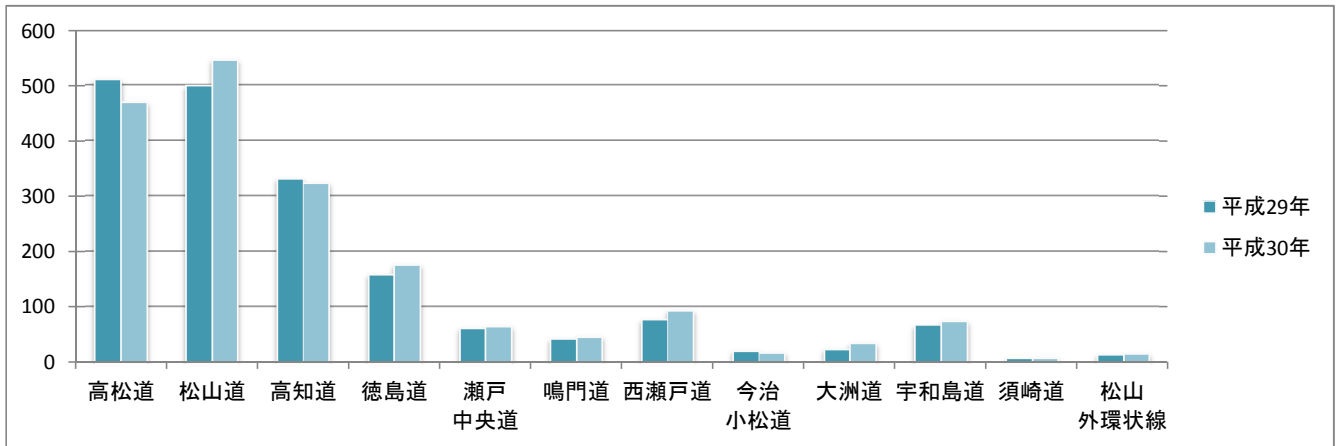
	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
物損事故	1,380	1,565	1,625	1,769	1,896	1,836	1,878	1,814	1,703	1,762
人身事故	190	176	181	164	199	164	140	126	112	105
死亡事故	5	5	8	7	7	7	9	10	7	3
合計	1,575	1,746	1,814	1,940	2,102	2,007	2,027	1,950	1,815	1,867

* 人身事故は、死亡事故を含む。

上のグラフと表は、過去10年間に四国の高速道路で発生した交通事故件数の移り変わりを表したものです。

平成30年中の発生状況については、物損事故は前年比+59件と増加しましたが、人身事故・死亡事故はいずれも過去10年で最も少なくなっています。

○路線別交通事故発生状況（前年対比）

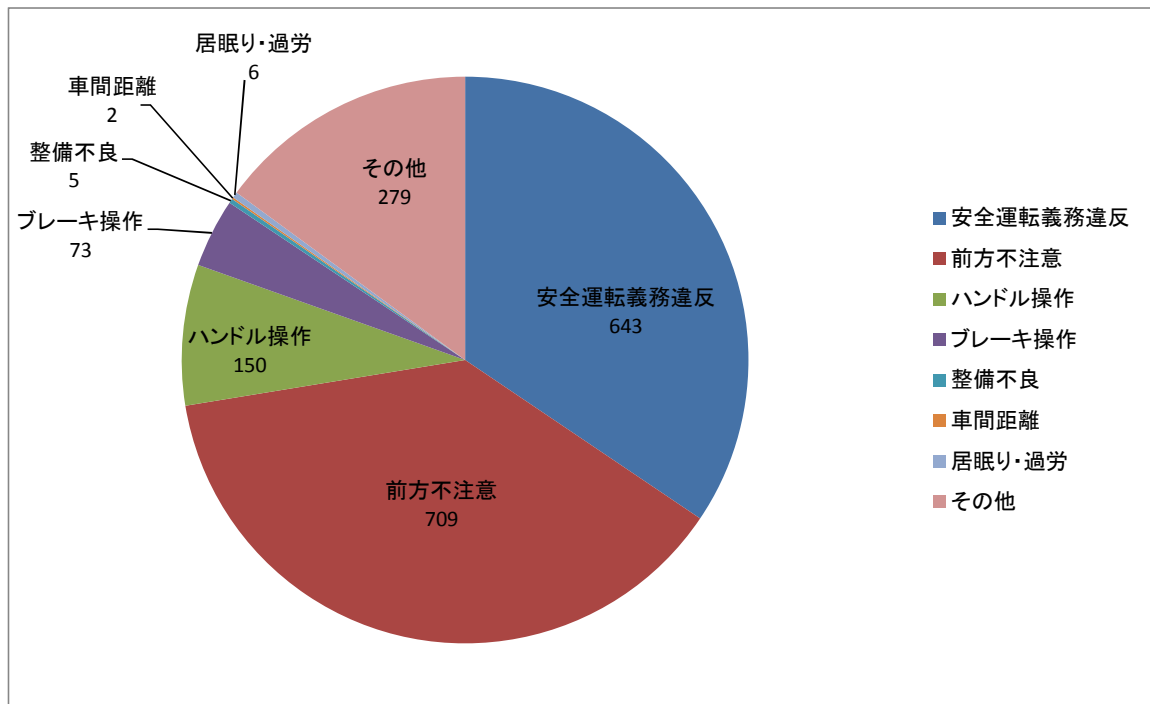


	高松道	松山道	高知道	徳島道	瀬戸中央道	鳴門道	西瀬戸道	今治小松道	大洲道	宇和島道	須崎道	松山外環状線	合計
平成29年	511	500	332	158	62	43	77	21	23	67	7	14	1815
平成30年	469	546	324	176	64	46	93	18	34	74	8	15	1867

上のグラフと表は、四国の高速道路で発生した交通事故件数を路線別に表したものです。

前年と同様に高松道・松山道で交通事故が多く発生しており、全体の約54.4パーセントを占めています。

○原因別交通事故発生状況(平成30年中)



原因種別	安全運転義務違反	前方不注意	ハンドル操作	ブレーキ操作	整備不良	車間距離	居眠り・過労	その他	合計
件数	643	709	150	73	5	2	6	279	1,867

前記グラフと表は、平成30年中に四国の高速道路で発生した交通事故を、原因別に表したものです。

主な交通事故の原因は、

- ◆安全運転義務違反 (643件)
- ◆前方不注意 (709件)
- ◆ハンドル操作不適 (150件)

となっており、事故全体の約 **80.5%** を占めています。